

1. 件 名：日本原子力研究開発機構新型転換炉原型炉ふげんの緊急時対策支援システムへの伝送の検討について

2. 日 時：令和元年10月17日 10:00～10:54

3. 場 所：原子力規制庁3階 ERC

4. 出席者

原子力規制庁

緊急事案対策室 宮地防災専門官、岡村係長

情報システム室 中台専門職、守屋専門職

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 敦賀廃止措置実証部門

新型転換炉原型炉ふげん 廃止措置部 設備保全課 主査 他8名

5. 要 旨

日本原子力研究開発機構から、新型転換炉原型炉ふげんから緊急時対策支援システム（ERSS）への伝送にあたり、その検討状況について資料に基づき説明があった。

原子力規制庁より、ふげん内のシステムの2重化の考え方について整理するように伝えた。また、伝送項目について、過不足が無いか確認するように伝えた。

日本原子力研究開発機構から、引き続き検討するとの回答があった。

6. その他

配布資料：あり